

第2章 環境基本計画（改訂版）分野別施策のこれまでの評価

【評価の方法】




「環境基本計画」（改訂版）では、望ましい環境像「歴史と自然に恵まれ、環境と対話する安全・安心なまち・奈良」を目指して7つの分野別将来像と18項目の基本施策を設定し、基本施策の中に、それらを実現するための具体的な施策として39項目の施策が挙げられています。



計画の評価に当たっては、それぞれの分野別将来像の実現に向けた参考となる指標及び目標値が32項目設定されており、それぞれについて担当課の自己評価により4年間（平成24年度～平成27年度）の取組状況を環境基本計画（改訂版）策定時の現状値から目標値にどれくらい近づいたかを進捗率で評価し、その評価をふまえて目標値の達成見込をAからDの4段階で評価しました。

- A：計画に記載されている目標を既に達成済。
- B：計画に記載されている目標を目標年度までに達成できる見込み。
- C：計画に記載されている目標を目標年度までに達成できない可能性がある。
- D：計画に記載されている目標を目標年度までに達成できない見込み。



基本施策ごとの進捗率、達成見込、その取組内容については、次表のとおりです。

《地球温暖化対策分野》




参考となる指標	進捗率	達成見込
市域の温室効果ガス排出量	 0.0%	D
	取組状況 奈良市の排出量の約8割を占める民生家庭部門・民生業務部門・運輸部門の対策として、家庭部門ではグリーンカーテンの普及啓発や雨水タンクの設置補助、雨水を活用した打ち水の普及啓発のほか、住宅用太陽光発電モデルプラン事業を行った。民生業務部門では、商店街LED導入補助を実施し、運輸部門では、タクシー事業者に対し低公害車*タクシー導入補助事業を、バス事業者にはハイブリッドバス導入補助事業を実施した。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
奈良市の事務及び事業における温室効果ガス排出量	 41.1%	B
	取組状況 夏季、冬季の節電の取組（空調の温度設定、照明の間引き、夏季のライトダウン等）、公用車における燃料使用量の削減や低公害車の導入促進等を実施し、温室効果ガス排出量の削減を行った。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
LED街路灯の導入	 38.6%	B
	取組状況 街路灯のLED化について、防犯灯クラスのを平成24年度から順次取り替えており過去4年で全体の約4割を取り替えた。	

参考となる指標	進捗率	達成見込
家庭用太陽光発電の設置割合	  54.1%	C
	取組状況 補助事業の実施や、住宅用太陽光発電のメリットや設置の際の注意点等の情報提供、住宅用太陽光発電モデルプラン事業実施による住宅用太陽光発電設置の普及促進に取り組んだ。	


《自然環境分野》


参考となる指標	進捗率	達成見込
草本類の在来種* 数及び外来種*の 比率（帰化率）	 -	C
	取組状況 鳥類の種数及び 個体数（密度） 哺乳類の外来種 の比率 前回調査以降調査を実施していないため、生物相*の変遷は把握できていない。継続的に自然環境調査を実施することは重要であることから、平成29年度以降実施に向け調査の計画について検討を行った。	
人工林における 間伐*の施業面積	  34.7%	C
	取組状況 施業放置された森林を健全な状態に整えるための間伐事業や木材搬出に伴う間伐事業等に取り組んだ。	
市民ふれあい交流事業（ミニ直売所）	 0.0%	C
	取組状況 開催地区に変動はあるものの、開催箇所数は現状維持のままであった。	
農業地域と市街地との交流参加者数	  20.0%	B
	取組状況 都祁の自然・ふるさと資源を活用し、食と農の本物体験を通じた交流の事業展開を行った。	
奈良県産 学校給食食材 地産地消*率	  37.8%	C
	取組状況 学校給食の使用食材は季節や旬、流通量を考慮しながらできる限り地場産食材を使用し、新たに取り入れる地場産食材の種類を増やす取組を進めた。	

《歴史環境分野》

参考となる指標	進捗率	達成見込
奈良町（旧市街地）における伝統的建造物の保存整備事案件数	 37.0%	B
	取組状況 奈良町（旧市街地）における修理・修景事業に対して、平成25年度は8件、平成26年度は15件、平成27年度は14件について補助を行い、歴史的な町並みの保全に努めた。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
なら工芸館入館者数	 0.0%	C
	取組状況 工芸フェスティバルでの新しい取組などにより、平成26年度は増加傾向にあったが、企画展の減少等により平成27年度は減少した。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
奈良伝統工芸後継者育成研修了者数	 50.0%	B
	取組状況 平成27年度9月に三期生の3名が研修を修了し、新たに10月から四期生3名が研修を始めており、予定通りに進んだ。	

《生活環境分野》

参考となる指標	進捗率	達成見込
光化学オキシダント*環境基準の達成率	 0.0%	C
	取組状況 毎年の達成率が9割程度であった。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
騒音規制法・振動規制法に基づく特定施設の立入調査	 騒音：60.4% 振動：66.2%	-
	取組状況 総事業場に対する立入済み事業場の割合は約6割であった。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
市内河川のBOD*環境基準達成率	 100.0%	A
	取組状況 市民や事業者に向けて啓発活動を実施した。また、維持水量増量のためのせせらぎ水（地下水）の導水（菩提川）や川底のしゅんせつ、下水道の接続（市河川課、県河川課、市下水道担当課が実施）、地域での定期的な清掃活動などを実施した。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設の立入調査	 90.0%	B
	取組状況 10事業場のうち9事業場について立入調査を実施した。	


参考となる指標	進捗率	達成見込
事業者によるダイオキシン類測定の実施	100.0% 	A
	取組状況 事業者によるダイオキシン類測定結果については、市への報告義務があり、現状すべての事業者から報告は提出されている。定期的な立入調査、文書公布により、測定義務、報告義務の意識づけを行った。	

《資源循環分野》



参考となる指標	進捗率	達成見込
ごみ搬入量（再生資源搬入量を除く。）	  67.8%	B
家庭系ごみ搬入量	取組状況 奈良市環境清美センター搬入管理要領に基づき廃棄物収集運搬許可業者に対し、積載物の展開検査を随時行った結果、事業者のごみ搬入が適正に行われるようになり事業系ごみ搬入量が減少した。また平成27年度に後期5年間の計画を社会情勢やごみの搬入動向を考慮し見直した基本計画を策定した。	
事業系ごみ搬入量		
参考となる指標	進捗率	達成見込
産業廃棄物*の最終処分率	  0.0%	B
取組状況 「奈良市産業廃棄物処理計画作成指導要綱」に基づき、市内で事業活動を行った排出事業者から処理計画及び実施状況報告書の提出を求め、廃棄物の減量化等の啓発を行った。		
参考となる指標	進捗率	達成見込
不適正処理（不法投棄、野外焼却等）件数のパトロール総箇所数に対する割合	  0.0%	C
取組状況 産業廃棄物の排出事業者や処理業者の不適正処理、不法投棄や違法焼却の未然防止を図るため、立入検査や指導、監視パトロールを実施した。不適正処理件数は平成27年度に増加したが、ほとんどが一般廃棄物であった。		
参考となる指標	進捗率	達成見込
不法投棄警告センサー設置箇所数	  40.0%	B
取組状況 不法投棄される地域の中から不法投棄防止センサーを設置すべき必要性の高い場所に設置した。		
参考となる指標	進捗率	達成見込
アダプトプログラム*活動回数	  0.0%	B
取組状況 活動団体に対する支援として、引き続き清掃用具や花の苗等の支給、ごみの回収等を行った。		

《都市環境分野》

参考となる指標	進捗率	達成見込
住宅の耐震化率	37.7%	C
	取組状況 東日本大震災の発生及び今後予想される巨大地震に対する備えへの必要性は認識されているところであり、住宅相談窓口の設置や市の広報媒体を活用しながら市民への周知に努めてきた。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
下水処理施設の耐震化率	23.6%	C
	取組状況 下水道処理施設の統廃合や長寿命化計画との整合性を図ったうえで、耐震化を進めた。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
耐震性貯水槽の設置数	63.6%	D
	取組状況 市民が安心して暮らせるまちづくりを推進するうえでの一つの施策として、消防防災対策の充実が必要であるため年次計画により整備を図った。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
自主防災防犯組織結成率	0.0%	B
	取組状況 1団体増えたがパーセンテージに反映される程の増加はなかった。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
市民1人当たりの都市公園面積	40.0%	D
	取組状況 大規模公園を含む場合 都市公園の追加は民間の開発事業による増加がほとんどであった。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
グリーンサポート制度*による公園管理率	40.0%	D
	取組状況 活動団体に対して年間2回に分けて報奨金を支払うほか、ごみ袋の支給やごみの回収等を行った。	
参考となる指標	進捗率	達成見込
パークアンドライド*駐車台数	104.2%	A
	取組状況 春秋の観光シーズンに、奈良公園を中心に発生する交通渋滞の緩和策として観光客に市役所の駐車場を無料開放し、パークアンドライドを実施した。また、県、市が連携し、事業を実施したため、認知度及び効果が高まった。	

参考となる指標	進捗率	達成見込
パークアンドサイクルライドの利用者数	88.9% 	B
	取組状況	
春秋の観光シーズンに、奈良公園を中心に発生する交通渋滞の緩和策として観光客に市役所の駐車場を無料開放し、パークアンドサイクルライドを実施した。また、県、市が連携し、事業を実施したため、認知度及び効果が高まった。		

《環境教育分野》

参考となる指標	進捗率	達成見込
幼稚園・小学校での環境出前講座開催数	15.3% 	C
	取組状況	
環境出前講座については、校長会、園長会で案内するなど周知に努めているが、申込のある学校園に広がりが見られない。そのため、地域教育協議会での広報やチラシ配布、交流のついでパネル展示等を実施し、学校園関係者への周知強化を図った。		
参考となる指標	進捗率	達成見込
環境保全活動に参加したいと思う市民の割合	0.0% 	C
	取組状況	
市民、事業者、観光客等に対して、環境保全意識の向上及び環境保全行動の実践を推進するよう、環境フェスティバルや環境イベント等で啓発活動や情報発信を行った。		

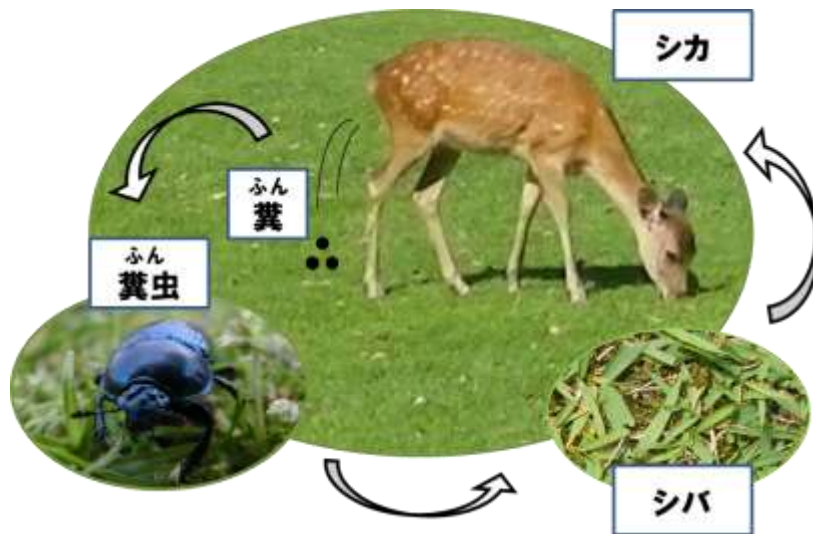
【全体的な評価】

全体では、B及びCの評価が37.5%と多く、次いでDが12.5%、Aが9.4%の評価となっている。

分野ごとにみると、生活環境、資源循環の分野においては、A、Bの高い評価となっている項目が多く、自然環境、都市環境、環境教育の分野については、C、Dの低い評価となっている項目が多くなっている。

奈良市の環境キャラクター「ルリくん」

奈良公園には1,000頭を超える野生のシカが暮らしていますが、そのシカの糞をコツコツ処理して土に戻してくれているのが糞虫と呼ばれる食糞性コガネムシの仲間たちです。その代表が紀伊半島各地でしか見られないルリセンチコガネ（オオセンチコガネ（ルリ型））と呼ばれるきれいなコガネムシです。



そこで、奈良市の環境をイメージし、循環型社会を象徴するキャラクターとして、ルリセンチコガネの「ルリくん」が誕生しました。

